

保護者説明会での主な質問・要望

= 適正規模に関連すること =

- Q 市内では学校規模に格差があり、教育環境の不均衡が危惧されるとのことだが、実際、問題が起きているのかについて。
- A 教育的な指導部分について問題は生じていませんが、クラス替えも出来ない1学年1学級が本当に良いことなのか、小学校の適正規模を検討していただき12～24学級という答申が出されました。
- Q 20年前の学校区分の資料で適正かどうかを考えるのは問題外であり、現状を把握し適正規模を考えていただきたい。小さな規模でないと、先生方の目も行き届かず、審議会の出した適正規模は不適正であるということについて。
- A 学校規模は一般的に学級数で分類されており、この資料を根拠に審議しているわけではありません。
- Q 小規模校の課題とあるが、どう解決するのか議論されたのか。統合により通学距離が長くなるとの意見も出ており、子供達にリスクや負担を負わせ何かメリットがあるのかについて。
- A 統合と決まったわけではありません。適正規模の考え方を理解していただき、今後具体的な適正配置を審議していく中で、そういう点についても検討していきたいと思います。
- Q クラス替えができないことがデメリットとのことだが、4校の間で交流を深めることは現実的に難しいのかについて。
- A 学校間の交流は、体育や音楽発表を可能な範囲で実施しています。また、学芸会を合同で行ってはどうかとの話も出ていますが実施には至っていません。教育委員会としても実施できるよう努めています。
- Q 中学校については検討しないのかについて。
- A 小学校が整理された段階で検討に入りたいと考えております。校長会としても、中学校の小規模校のメリット、デメリットについて検討しております。
- Q 30人とか35人学級とかで国に要請できないのか。新聞報道を見ると、財政の苦しい中、非常勤の先生を雇い20人くらいになるように工夫しているところもあ

保護者説明会での主な質問・要望

ると聞くが、北広島市でも地域にあった考えをできないのかについて。

A 現行制度では40人学級となっていますが、35人学級に移行するよう、組織として国に要請しております。

Q 多くの人は複数学級が良いと考えていると思うが、できるだけ途中経過を知らせていただき父兄の意見を反映できるようにしてほしいということについて。

A 平成18年度は適正配置の検討に入ることになっており、審議会は公開を原則としております。中間答申までの経過等は市のホームページに掲載し公開しています。適正配置の説明会についても開催を予定していますが、まだ決まっておりません。全てが決まる前に説明会を開催してほしいということのご意見として承り、今後の進め方を含め検討して参ります。

Q 審議会には小規模校の教員や保護者が入っていないが、現場を一番知っている保護者や学校が入っていないのにどうして適正かどうかわかるのかについて。

A 北広島市全体の小学校の適正規模を審議していただくため、地域バランスを考慮し委員を選考しております。小規模校に絞った審議をしているわけではありません。

Q 審議会の委員の構成について。

A 条例で定められており、学識経験者2名、保護者5名、学校長2名、教頭3名、市職員1名の計13名で構成されています。なお、保護者については、市P連から推薦された方をお願いしております。

Q 今日の意見は審議会の審議に反映されるのかについて。

A 意見を集約し、審議会に報告いたします。

Q 保護者にアンケートを取るとかの考えはないのかについて。

A アンケートを取ることは考えておりません。保護者や地域の方々に直接説明しお話を伺っていきたいと考えています。

Q 4校を維持していくより学校を減らせば予算が減ると思うのだが、財政的な問題もあって審議会で検討しているのかについて。

保護者説明会での主な質問・要望

A 今回はいくまでも教育活動や生徒指導、学校運営上で審議していただいた結果です。仮に統合となり学校が減った場合、教育費は減るかもしれませんが、市有施設として利用していくとすれば、むしろ市としての財政的な負担は増えることも考えられます。

Q 何年後を考えて検討しているのかについて。

A 皆さんからの意見を伺い、今年度中に適正規模の教育委員会の考え方をまとめ、18年度に具体的な配置について審議会で検討していただく予定となっております。答申を受け、また保護者等に説明会を開く考えでありますが、仮に統合となれば、お互いの学校間の調整等で時間はかかると考えています。

Q 保護者の意見をどこまで取り入れてくれるのか。色々な意見を言っても、結局違う結果になると言う事もありうるのかについて。

A 適正配置の答申が出た後、再び説明会を開き、その中でご意見をいただきながら教育委員会として最終的な判断をしていきたいと考えております。

Q 2世帯住宅の建築をできるようにするとか、市として団地に人口を増やす取り組み、特に若い世代が入ってくるような政策をとって欲しいということについて。

A ご指摘の件は関係部署に伝え、そういう取り組みができるようお願いしたいと思います。

= 適正配置に関連すること =

Q 通学区域が広がれば下校時の心配がある。下校時は学校側ではなく親が責任を持つことになるのかについて。

A 学校と家庭と地域で守っていかなければならないと思います。健連協や見回り隊といったような地域組織も作られており、地域を含め一体で子供たちを守っていくことが基本と考えています。

Q 今の校区のまま統合となるのかについて。

A 適正規模にするためには、一般的に通学区域の見直しや統合といった方法がありますが、それについてもご意見を伺いたいと思います。

保護者説明会での主な質問・要望

- Q 4校統合となれば通学距離が長くなるが、通学はどうなるのかについて。
- A まだ統合とかの結論を出してはいません。
- Q 学級数が少ないから統合等を考えるのかについて。
- A 児童数が減少しており、教育効果から審議していただいた結果、複数学級が必要との結論となりました。
- Q 学校選択性の場合、小学校、中学校が学区を越えて選択可能なのかについて。
- A 考え方としては可能ですが、選択性というのはそれぞれの学校が特色ある学校づくりをし、保護者が自分の子どもにあった学校を選び、学校の活性化を図ることが基本となる制度だと思います。
- Q 団地の4校は施設的に、各校何クラスまで受入可能かについて。
- A 現状のままでは18学級程度です。
- Q 適正規模を確保するため2校統合で可能なのか。長期的に見れば、3校まとめざるをえないのではないかと。また、4校統合もありうるのかについて。
- A 審議会の中問答申は基本的に尊重したいと考えていますが、具体的には今後の配置の中で検討していきますのでそういう点に関してもご意見をいただければと思います。
- Q 適正配置を審議する委員も同じ人なのかについて。
- A 審議が長引けば別ですが、任期が2年であることから同じ委員で検討していくこととなります。
- Q 適正規模は学童クラブと連動するのかについて。
- A 適正配置を検討する中で、連動した話でなければ困るという意見があったことを担当に伝えたいと思います。

(注) 会議録から要約したものであり、発言すべてを記述したものではありません。